

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 156 号

〔論文〕

一八世紀前半の俗信と不作の忌避

―神譚としての「天氣不正」と差し留められる湯治―

浪川 健治

1

平田門人にして幕末の志士

―新出の師岡正胤書簡を手掛かりに―

中川 和明

16

〔研究ノート〕

弘前城の時計・時太鼓と城下の時鐘について

篠村 正雄

32

「糠塚きゅうり」史考

―在来作物の感覚史に向けた予備的考察―

辻本 侑生

44

〔資料紹介〕

弘前市沢田の山神像

関根 達人

53

〔書評〕

関根達人著

『つながるアイヌ考古学』

蓑島 栄紀

60

根本みなみ著

『「家からみる江戸大名」毛利家―萩藩』

林 亮太

67

浪川健治監修、根本みなみ総括編者、

山下須美礼・吉村雅美編者

清水翔太郎

73

『弘前藩主 津軽信明日記集成』

— 彙 報 —

◎令和五年度第一回弘前大学國史研究会役員会を、令和六年三月二五日（月）に開催し（オンライン会議）、令和六年度弘前大学國史研究会大会・総会の内容について検討し、日時などを決定した。

日 時 令和六年九月一六日（月・祝日） 一三時三〇分～

会 場 弘前大学創立五〇周年記念会館岩木ホール

大会講演 菊池（柳谷）慶子氏（東北学院大学東北文化研究所特別研究員）

大会報告 福井敏隆氏（弘前大学國史研究会副会長）

※大会講演と研究報告は対面とオンラインのハイブリッドで実施。

大会後の総会は対面で実施。詳細は八月にご案内します。多くの会員の参加をお願いします。

◎弘前大学國史研究会が令和六年二月二九日付けで、弘前市立弘前図書館施設利用に関して、その施設利用が無料となる「図書館関係団体」に認可された。今後、例会などで活用していきたい。

（HT）

『弘前大学國史研究』投稿規定

- ◎ 論文 四百字詰 60枚程度を原則とする（縦書き、以下同様）
- ◎ 研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度
- ◎ 研究余録 四百字詰 10枚程度
- ◎ 史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度
- ◎ その他（書評・研究動向・歴史随想など） 四百字詰 10枚から20枚程度
- ◎ パソコン等による執筆は、32字×23行×2段で組んで下さい。本文と図版は別のファイルにし、図版の挿入箇所及び大きさ等を本文中に明示して下さい。（投稿申込者には、原稿雛型と執筆要項をお送りいたします。）
- ◎ 横書き原稿を希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。
- ◎ 原稿締切 一月末と八月末の年2回
- ◎ 投稿申込は原稿締切の1ヶ月前までに事務局に申し込んで下さい。事務局のメールアドレス hirodaikokushi@gmail.com
- ※ 投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿をお願いします。また、原稿は必ずお手元でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限ります。
- ※ 掲載については、原稿を受領後、編集担当者会議で審査し、審査終了後にご通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。
- ※ 掲載された論文等については、原則として弘前大学学術情報リポジトリで公開します。公開許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、リポジトリ公開についても、著者の責任において権利者からの許可手続きを行って下さい。
- ※ 掲載分の論文等については、PDFまたは抜刷30部をさしあげます。
- ※ 本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の了承を得て下さい。

令和六年五月三十日

弘前大学 國史研究 第一五六号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学教育学部日本史研究室内

編集者 弘前大学 國史研究会
発行者

振替口座 〇二三〇〇一六三四番